



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」 亀田の郷の縞だより

令和8年

014

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強くて優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

亀田縞利用促進協議会



Person

金工作家

大桃 沙織さん
洋三さん

鍛え彫り金属に刻む繊細な手仕事 布のやわらぎ宿す祖母との記憶

伊夜日子神社にほど近い静かな袋津の一角に、大桃さんの自宅兼工房があります。ここはかつて沙織さんの祖父が暮らしていた家で、子どもの頃に遊びに来ると、縫い人だった祖母の針仕事を模して做った懐かしい場所。大学で鍛金を学び、洋三さんと出会って結婚した後、ふたりはこの家へ移り住み、暮らしています。

沙織さんの作品は匙や収納箱など日々の道具が中心。繊細な文様を施した丁寧な細工は金属でありながら、やわらかくあたたかい。規則性と揺らぎ、手仕事の心地よいリズム。そんな風に感じるのは、少女時代からずっと親しみ今もかわらぬ大好き、という裁縫や刺繍の影響もあるのでしょうか。

個展を心待ちにする声も多いけれど制作は子育てや家事と隣り合わせ。そうした日々を支えているのが、工業鑄物の職人、洋三さんの存在です。沙織さんのことは「他の人にはできない仕事を選び、その時その時必要なことを選択しながらこなす。そして着実に前進しているのはすごいと思ってる」のだとか。「え...それは嬉しい!」とくくつ、とかわいらしく笑います。

「野良着の布遣い、素材な亀田縞の模様個性を持たらずのは、そこにひそんでいる緊張のようには思います。そしてそれを選びとるのは美しい心の目。そんなところは金工も共通しているように感じています」。

ちくちくとコツコツ。織物の歴史が積み重なった土地で金属という素材に向き合う。やわらかな布の感触と、火と槌が生む硬質な手応え。そのあいだを往復するようにして、大桃さんのものづくりは静かに続いています。



金工とは金属の板を鍛金や彫金の技術で形づくり、美術工芸品や装飾品を制作すること。特に新潟では金属の板をパンパン叩いて成形する印象が強いけど、丁寧で繊細な作品はイメージを覆す。

祖母や母に倣い子どものころからずっと裁縫や刺繍が大好き。「針と糸の手仕事は私の原点」。ご主人のパンツも自分で縫ったもの。



特集

令和7年度

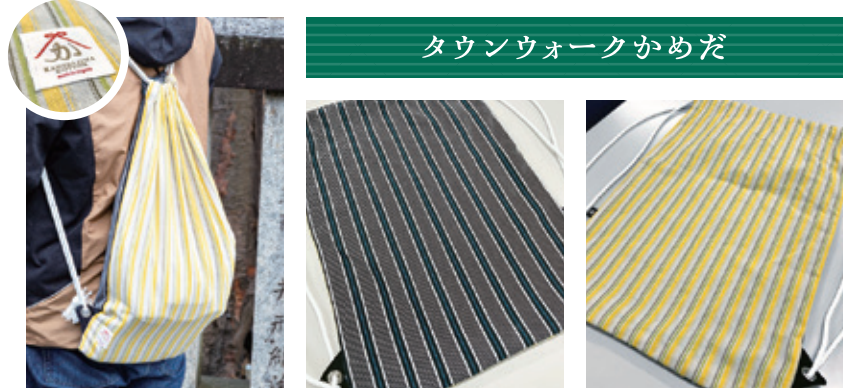
亀田縞プロジェクトご報告会

今年度もいろいろありました

いつも亀田縞への応援ありがとうございます。亀田縞利用促進協議会では、亀田縞をもっと知ってもらえる、今より好きになっていただくには何をすべきか、を話し合い実行していますが、特に近年はセカンドラインのスタートなど、事業が複数走ってあつという間の一年でした。令和7年度の取り組みをここに報告します。これからも知恵と工夫とスクラムを組んでますます邁進してまいります。皆さんのご意見やアイデアもぜひ聞かせてください。

2025年3月は亀田縞公式ショップがスタート。2つの機屋と、亀田縞を使って製品販売する県内クリエイターの商品をネットでもとめて見て購入できるようにしました。同じく3月、若い層への認知度アップを目的に、明るいい色合いのセカンドラインを開始しました。7月、EXPO2025大阪・関西万博へ出展し、区長を先頭に亀田縞を宣伝。セカンドラインのハンカチなどたくさん購入いただきました。それと並行してこれらの事業を行いました。

亀田縞
公式ショップ



タウンウォークかめだ

遠目でも目立つ鮮やかな黄色(稲2)を選んだ。大勢で歩きながらも参加者に容易に認識してもらえ最高の目印効果になっている。反対面はブルー系(雪2)で、これまでの亀田縞と現代風の亀田縞の対極イメージとして、2ndの試みを説明しながら使用している。



亀田縞 2ndライン スタートアップ 事業

「亀田縞2ndライン」の認知向上や取扱事業者の増加や消費の拡大を目指し、2ndラインの生地を購入し加工・活用する事業者に対して、取り組みにかかる経費の一部を補助しました。

TULIP EN MENSEN

新潟の伝統的な素材をベースに日常的で自由なスタイルを提供するファッションブランド。「季節問わず着やすく扱いやすい」素材感が気に入ってふだんから中営機業の亀田縞で衣類製作している。今回中営機業K2-25N01-2、K2-25N03-2を選び、大き目のタックが入ったユニセックスのパンツを製作した。ほどよいしわ感がカジュアルな雰囲気。「薄地でめずらしい暖色」がチョイスの理由だった。

はにかむ機屋だより

中営機業(有)

ゆっくりのんびりご覧ください
ショールームを改装しました

事務所併設のショールームを少しリニューアルしました。小物が見やすいように棚を設置し、洋服もすっきり手にとっていただきやすくなりました。ぜひ遊びに来てください。



中林 恵利子 さん

今月のイチ押し!

サウナハット

空気の通りがよい亀田縞の布地特徴を活かしたサウナハット。無地とのリバーシブルでスタイルに合わせてやすく、ポケットで持ち運びしやすい。野外では大きなツバが首の日焼け防止にもなる優れもの。



中営機業(有) 新潟市江南区曙町 1-8-18 | TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦織で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

亀田縞の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。
個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

今月の
テーマ

春のニュース

立川織物

桜の季節のお待ちかね
4月の展示会をご案内します

ショールームは季節の小物がお出迎えしています。今は亀田縞の野良着を着たカエルさん、好評です。
4月18(土)~19日(日)、今年も上越市、高田小町で展示販売会を行います。オーダーも可能です。



立川 治秀さん

今月のイチ押し!

トラベルバッグ

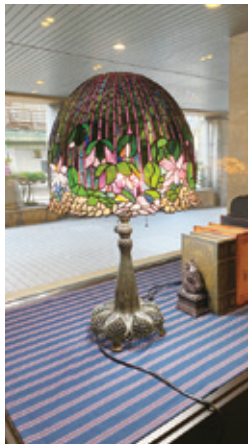
行楽におすすめのバッグ。大きなマチが上まで続くボックス型でコンパクトながらたっぷり収納でき、一泊二日も十分なサイズです。中のものをしっかりキープするファスナー付。大きなポケットも便利です。色違いもあります。



立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横織で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のある太めの糸で織りあげる。スベック染を行う。

ホテルイタリア軒×亀田縞



ホテルの格式を考え、また調度品やステンドグラスの美しさが映える縞柄はすべて2ndラインからチョイスした。旅人がゆったりと腰を落ち着けくつろぐソファには3種のクッションを。新潟市出身の挿絵画家、落谷虹児の絵画が飾られる空間に、生活の布・亀田縞があることで、なつかしい新潟の風景に思いをはせることができる。



割烹 螢×亀田縞



「芹」の間のファブリック類すべてを亀田縞で統一した。部屋に入ったときの第一印象を大切に、壁のパネルの色を先に決め(中営26-4)、テーブルランナーやナプキンをつなげるようにえんじ色系で合わせた。さし色に白を使いながら、サイドテーブルを紐系で狭く締めてまとめた。次の料理を待つひとときまで新潟らしい空間を演出した。



ふるまち芸妓のみなさんにも協力してもらいました。留袖さん・振袖さん全員に好きな亀田縞を選んでもらい千社札入れとハンカチを作りました。千社札入れは芸妓さんが毎日使う必需品。着物の胸元からすつと取り出す美しい仕草に思わず目が留まります。芸妓さんのお顔とともに亀田縞の縞柄を印象づけてもらえたら嬉しいです。

ホテルイタリア軒では、旅のファーストインプレッションを印象づけるフロント、ロビー階で亀田縞を活用してもらいました。クラシカルな雰囲気にも合うように縞柄を選びファブリックを配置。別館の割烹螢は、一室のすべてを亀田縞で統一。土地の食材をふんだんに使った郷土料理と会話を楽しむ空間を、亀田縞が新潟らしさであと押しします。

亀田縞ブランドプロモーション事業

新潟を象徴するおもてなしの現場で亀田縞を使ってもらい、新潟を訪れるお客様に亀田縞を知ってもらう取り組み。㈱KAMEDAplusが実施し現在も様々な場所、新しい使用方法で亀田縞を知ってもらおうと活動中。

ふるまち芸妓×亀田縞



「千社札」とは芸妓さんが名刺代わりにお客様へお渡しする名前シール。見本帳から好きな縞柄を自由に選んでもらった。
上左/菊乃さん「秋生まれでオレンジ色が大好きなので一目見てこちらに決めました(2nd KQ7255)」。
上右/和香さん「何にでも合う渋めの色が気に入りました(中営6-2)」。
左/振袖さんのみすずさん(左)とつむぎさん(右)「明るい色がとても気に入りました」。

NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中！
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

江南区のいいところをまるごと満喫 学べて美味しい人気のバスツアー

内容充実、お土産いっぱい、毎回満員完売してしまう人気の「江南区バスツアー」。今回は昔の農具見学から中央卸で昼食、バター作り、亀田縞の工場見学まで、一日遊んで学んで、歴史・農・食が盛りだくさんの内容だった。次回の開催もお見逃しなく。



人形浄瑠璃の迫りに引き込まれる 贅沢な公演とフォーラムのひととき

2月7日(土)江南区文化会館で新潟の宝実行委員会による「亀田縞&猿八座フォーラム」が開催された。佐渡市の伝統芸能「人形浄瑠璃」の公演では、特別に人形が亀田縞の衣裳を着ていたのが印象的。迫力の公演と共に、亀田縞と猿八座のフォーラム、亀田縞パフォーマンスコンテストも行われた。



古町花街で亀田縞を体感 亀田縞コンセプトルームのお披露目会

「亀田縞ブランドプロモーション事業」記者発表会が3月26日、割烹 螢(新潟市)で開催された。女将・加藤氏より「主に女性のお客様に好評」と手応えが語られ、古町芸妓の和香さんは「千社札入れが会話のきっかけになっている」とエピソードを披露。本事業を企画した㈱KAMEDA plusは「新潟らしい空間を楽しんで」と地域活性化への想いを語った。



街角でふと出会う亀田縞 タペストリー事業、今年も完了

事業も6年目となり、近年は問い合わせも多いプロジェクトに成熟した。今年にははばたき信用組合本店のほか江南区から範囲を広げて中央区にも設置。新潟駅構内のメーカーズシャツ鎌倉CoCoLo新潟店のタペストリーは多くの人が行き交うバスロータリー側ウインドウと通路側の好立地、2か所のどちらかで見ることができる。



メーカーズシャツ鎌倉CoCoLo新潟店/
新潟市中央区花園1-1-1 CoCoLo新潟1F WEST SIDE



P.K.C+バクチャープラス/
新潟市中央区東堀通4-452



はばたき信用組合本店/
新潟市江南区旭2-1-2



切り取って保管しよう! 亀田縞2ndライン全ラインナップ



新大生のグループなど、若い人の力を借りて2ndラインがスタートしてはや一年。第一弾24柄に加えて、今年、立川織物、中営機業がアイデアを駆使して、第二弾の24縞柄を追加しました。ヴィヴィッドな色調の第一弾に比べて実用的な縞柄が増えました。また販売終了した縞柄もでています。そこで現在2ndラインナップをすべてご紹介。保存してご利用ください。

第一弾										第二弾									
春2	夏2	秋2	冬2	梅1	梅2	稲1	稲2	水1		水2	雪1	雪2	KQ6004-1	KQ6004-2	KQ6373-1	KQ6373-2	KQ6606	KQ6754赤	KQ6754紺
SOLD	SOLD									SOLD	SOLD								
KQ6755紺	KQ6755ピンク	KQ7255	KQ7256赤	KQ7256青															
K2-25 N02-2	K2-25 N02-3	K2-25 N03-1	K2-25 N03-2	K2-25 N03-3	K2-25T01-1	K2-25T01-2	K2-25T01-3	K2-25T02-1	K2-25T02-2										
K2-25T02-3	K2-25T03-1	K2-25T03-2	K2-25T03-3	K2-25T04-1	K2-25T04-2	K2-25T04-3	K2-25T05-1	K2-25T05-2	K2-25T05-3										

お気に入りの亀田縞

亀田縞の公式サイトではみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております!

■投稿はこちら

<https://kamedajima.net/showcase>

スカートにエプロンを重ねた『働く服しごと服』 優しい雰囲気とマッチして牧歌的なスタイルに

春になり明るい色を着るのが楽しい季節になりました。白とグレーのボーダー使いのジャンパースカートに薄地エプロンを重ねた、『大草原の小さな家』風ワークウエアスタイルのH.Aさん。ご本人のふんわりとやさしい雰囲気がデザインとマッチしてかわいらしく、とてもお似合いです。同柄の長袖ワンピースの上に重ねて着てみると、縞がタテヨコに現れ、もともとこんなワンピースだったような新スタイルになりました。

使用布地は中営14-0/薄地107-3。「はじめて亀田縞を知ったのは20年前に弥彦神社の前のお店でした」。亀田縞が復活した頃からの付き合い、ありがとうございます。



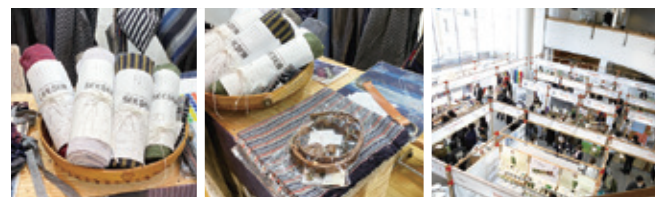
はにかむ for the future 活動日記



展示会は出会いと活きた意見を聞ける場所 亀田縞の未来を求めて出展してきました

2月初旬の展示会ウイークに、プロモーションと2ndラインの反応を確認に出展しました[2月4日(水)~6日(金)大日本市]。全国の販売のプロたちから率直な意見をたくさん聞いたのは大きな収穫。会期後はさっそく亀田縞に関心を示してくれたメーカーが視察に訪れたり、こちらが訪問するなど、展示会での出会いは今後の販路にしっかり活かしていきます。

2ndラインからポーチやハンカチ、「SEESEW」「大きいふるしきバッグ」等を展示。布代わりに吊るした衣類にどんどん触ってもらい亀田縞の独特な風合いを印象に残してもらおう作戦。



亀田縞公式ECショップ

<https://kamedajima.stores.jp/>

▶公式ホームページからご覧いただけます。 <https://kamedajima.net/>



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区 / 撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

今年はスポーツの一年となりそうです。ミラノ・コルティナオリンピック、WBC、ワールドカップなど盛りだくさんです。先日のオリンピックでは新潟県出身選手の活躍に熱狂しました。中でも平野歩夢選手の健闘には大変心を打たれ感動しました。困難に向き合い、自らの技と心を磨き上げる姿勢からは、日々の仕事や目標に向き合う力をもらいました。目まぐるしく変化する一年となりますが、慌ただしい生活の中でも亀田縞のやさらかな風合いのように心がほっとする瞬間をお届けできれば幸いです。(スタッフA)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ014

■発行: 亀田縞利用促進協議会 / 亀田繊維工業協同組合

〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>

■発行日: 2026年3月31日 ■企画編集: パクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

▶SNSフォローお願いします | 亀田縞のイベントや新商品情報、本紙の取材秘話など発信中。

